

## ハッ場ダム住民訴訟通信-61

2010年7月1日発行

### 参議院議員選挙候補者アンケート特集

#### ハッ場ダム中止：郡司彰(民)・ながつか智広(民)・稲葉のぶとし(共産)

私たちは、この度の参議院議員選挙に際し、茨城県の選挙区立候補者を対象に「ハッ場ダム事業」に対する基本的な考え方を確認するため、下記のアンケートを実施いたしました。

今回の選挙は、昨年の総選挙において誕生した鳩山政権に対する中間評価と言われ、同時に、選挙直前に成立した菅政権が、鳩山政権の何を引き継ぎ、何を变えるか。また各党がこれを機に何を打ち出すか。を見定める選挙でもあります。

私たちは、政権与党である民主党のマニフェストから「コンクリートから人へ」が消え、その象徴ともいえる「ハッ場ダム中止」の迷走を、危機感をもって見つめています。

「ハッ場ダムの中止」は単なるダム問題を超越、これまでの公共事業による「土建国家」から「福祉国家」への道筋を示す象徴的なテーマです。故に、私たちは「ハッ場ダム問題」はこの国の将来像を問う大きな争点と考えます。

■アンケート実施：6月14日郵送 ■アンケート回答：6月23日までにFAXで回答

■対象者：6月14日時点で事務局にて立候補を確認できた方々7名

■アンケート回答者(以下敬称略)

○民主党：郡司彰　ながつか智広　○日本共産党：稲葉のぶとし

○みんなの党：大川しげのり　○たちあがれ日本：吉田りえ

■アンケート無回答者

○自由民主党：岡田　広　○幸福実現党：中村幸樹

※以下、民主党：(民)　自由民主党：(自)　日本共産党：(共)　みんなの党：(み)

たちあがれ日本：(た)　と表記します。

#### 設問

Q1 あなたはハッ場ダム建設中止についてどう考えますか？

あなたのお気持ちに近い番号を○で囲ってください。

- ①中止に賛成 (→Q2に進んで下さい)
- ②中止に反対 (→Q3に進んで下さい)
- ③どちらともいえない/分からない　④その他(具体的に)

回答：①中止に賛成：郡司彰(民)　稲葉のぶとし(共)　ながつか智広(民)

②中止に反対：吉田りえ(た)　③分からない：大川しげのり(み)(電話回答)

Q2 Q1で建設中止に賛成と回答された方にお聞きします。

建設中止に賛成される理由を○で囲ってください。(複数回答可)

- ①水需要が減っていく時代になったので、ハッ場ダムの水源は必要ない

- ②ハッ場ダムは洪水を防ぐ役には立たない
- ③脆弱な地盤にダムを建設すると災害の危険性がある
- ④吾妻溪谷などの自然環境を破壊する
- ⑤ダム予定地の地域社会を崩壊させる
- ⑥税金の無駄づかい      ⑦その他（具体的に）

回答：①郡司彰(民) ①～⑦稲葉のぶとし(共)上流に広大な農地や温泉地が広がり、ダム湖の富栄養化は避けられない。 ⑥ながつか智広(民)

Q 3 Q 1 で建設中止に反対と回答された方にお聞きします。

建設中止に反対される理由を○で囲ってください。（複数回答可）

- ①水道水源確保のためにハッ場ダムが必要
- ②利根川の氾濫防止のためにハッ場ダムが必要
- ③地元住民の生活再建のためにハッ場ダム事業を中止すべきでない
- ④景気対策のためにはハッ場ダム建設工事を続行すべき      ⑤その他（具体的に）

回答：①～③吉田りえ(た)

Q 4 Q 1 で建設中止に賛成と回答された方に地元の生活再建問題についてお聞きします。

ハッ場ダム予定地の住民は、長年のダム問題に翻弄され、経済的にも精神的にも疲弊し、地域社会は崩壊の危機に立たされています。

ダム中止後に地元の地域再生、生活再建を進めていく上で必要と思われることを○で囲ってください。（複数回答可）

- ①ダム中止後の生活再建・地域再生支援法の制定
- ②地元住民を中心とした新たな地域再建計画
- ③地域再建事業への国と6都県の費用負担
- ④地元住民への生活再建支援金（個別補償）
- ⑤地元住民への精神的補償      ⑥その他（具体的に）

回答：②④郡司彰(民) ①～⑤稲葉のぶとし(共) ②ながつか智広(民)

Q 5 談合問題についてお聞きします。

ハッ場ダム事業に関しては、落札者が一部業者に集中していることや落札率が非常に高いため、談合の可能性が強いことが指摘されています。このことに関してあなたのお考えに近い番号を○で囲ってください。

- ①談合は犯罪である。断固として排除すべき、
- ②談合は排除すべきだが、地元零細企業には一定限度内で公平な形での優遇策はあってよい
- ③入札手続きは公正に行われているはずである。一部業者に落札が集中したとすれば結果としての競争力である
- ④その他（具体的に）

回答：①郡司彰(民) ①稲葉のぶとし(共) ②ながつか智広(民) ②吉田りえ(た)

自由意見：稲葉のぶとし(共)

新政権はダムの必要性を再検証し、ダムなしの生活再建の方向を具体的に提示し、それらを  
地元

住民に丁寧に説明することが急がれていると思います。

#### ■アンケートを省みて

多忙を極める選挙の最中、アンケートを求めることは甚だ迷惑なことと思ひ、送付後確認を兼ねてお詫びの電話を入れた。各候補とも事務所の方が驚くほど丁寧な対応だった。

回答は7人中5人を数え、昨年の総選挙時の24人中の7人を大きく上回る回答率であった。もっとも党派によるアンケートへの姿勢を見れば、当時の与党であった自由民主党、公明党、そして幸福実現党の無回答は変わりなく、これらの党の候補者が大幅に減少したことで回答率が上がったといえる(公明党は今回選挙区に候補を立てていない)。

Q4の地元の生活再建問題の問いに対し、日本共産党の稲葉のぶとし氏は(1)ダム中止後の生活再建・地域再生支援法の制定を必要と回答したが、政権与党の民主党の郡司彰氏とながつか智広氏は必要としなかった。同法は、八ッ場ダムに限らず、これまで公共事業が中止した場合、生活再建を補償する法律が無いために地元住民は無用と分かっても「事業推進」の道しか選べなかったことを正すものだ。私たちは運動の当初から八ッ場ダムの中止と同法の制定を求め、民主党へはその草案を提出してきた。「コンクリートから人へ」が参院選のマニフェストから消えても、その精神があるならば同法の制定は欠かせぬものだろう。民主党政権は本気で八ッ場ダムを止めるのか。心配である。

Q1に(3)分からない。と答えたみんなの党の大川しげのり氏は、このアンケートと併せて行った「茨城県の水問題を考える市民連絡会」のアンケートのみの回答であったため、電話で確認したところ「八ッ場ダム問題はよく分からない」とのことだった故、Q1の回答のみとした。

無回答であった幸福実現党の中村幸樹氏の意図は分からないが、自由民主党の岡田広氏の無回答は、自由民主党が私たちの運動を快く思っていないだろうことは想像に難くないが、八ッ場ダム推進なら推進の自論を述べていただきたかった。たちあがれ日本の吉田りえ氏は堂々と八ッ場推進の立場で回答してくださった。すがすがしさを感じる。

茨城県は県債残高を1兆8000億円(一人当たりにしたらあの大阪府よりも多い60万円)も抱えている。それにも関わらず八ッ場ダムのほか、霞ヶ浦導水事業、思川開発、湯西川ダムにも参画し、県民負担は1900億円(起債利息等をふくむ)にも上る。このアンケートが有権者の投票行動に少しでも影響を及ぼすことを願ってやまない。

#### 茨城県の水問題を考える市民連絡会

#### 四水源開発(八ッ場ダム・霞ヶ浦導水・思川開発・湯西川ダム)アンケート

今回の参議院選挙に際して「茨城県の水問題を考える市民連絡会」も表記のアンケートを

実施しました。

実施方法などの詳細は、ハッ場ダムアンケートと同じです。

設問：茨城県の水源開発問題を列記いたします。ご精読いただき下記にお答えください。

- ①茨城県の都市用水(水道用水+工業用水)は、日量 80 万 m<sup>3</sup>、水道用水に換算して 200 万人分余っています。
- ②水道用水の給水実績は、ここ 10 年ほど給水人口の増加、水洗便所の普及がありながら減少傾向を見せています(原因は節水機器の普及、冷房の普及による夏季需要の減少など)。
- ③茨城県人口は 2000 年をピークに減少期に入り、今後、急速な減少が予想されています。
- ④茨城県の水余りは、1995 年の霞ヶ浦開発の完成によって惹き起されました。開発水量は日量 169.3 万 m<sup>3</sup> と膨大ですが、都市用水と農業用水の使用量はここ 10 年、74.3 万 m<sup>3</sup> 前後を推移し、56%もの水が使われていません。
- ⑤現行の「いばらき水のマスタープラン」では、計画達成年度の平成 32 年には都市用水の余剰を 46 万 m<sup>3</sup> 見こんでいます。同プランは現在使用している地下水、自流河川水 27 万 m<sup>3</sup> を削減していますから、実際は 73 万 m<sup>3</sup> もの水余りを県自身が認めていることになります。
- ⑥茨城県は、霞ヶ浦導水、ハッ場ダム、思川開発、湯西川ダムの開発を進めています。総開発水量は 62 万 m<sup>3</sup>。県民負担は 1900 億円に上ります(起債利息等含む)。
- ⑦茨城県の水道料金は首都圏で突出して高いものになっています。
- ⑧私たちの水余りの指摘に対して、県当局は茨城県の水余り、人口減少は認めながら、「水余りは霞ヶ浦にあり、つくばエクスプレスなどの開発で、利根水系(県南・県西)は人口の増加が見込まれ、水需要も増える」と主張しますが、県自身の予測でも、利根水系の人口ピークは僅か 5 年後の平成 27 年、以降は急速に減少するとしています。
- ⑨茨城県の県債残高は 1 兆 8000 億円を越え、未曾有の財政危機に瀕しています。

質問：現在茨城県で進める水源開発をどうされますか、

イ すべて進める      ロ すべて見直しあるいは撤退する      ハ 一部進める      ニ 判らない

回答：イ すべて進める・・・吉田りえ(た)

ロ すべて見直しあるいは撤退する・・・稲葉のぶとし(共)、大川しげのり(み)

ハ 一部進める(湯西川ダム)・・・郡司 彰(民)

ニ 判らない・・・ながつか智広(民)

## ■アンケートを省みて

今回のアンケートは有権者が端的に判断できることを目指したことから、設問も回答も単純なものとした。結果はご覧の通りだが、概ね党本部の方針に沿ったものと思われる。民主党の郡司氏とながつか氏は、現職と新人の情報量の差が違いにでたものだろう。

今回も自民党候補の岡田氏、日本幸福実現党の中村氏からは回答がいただけなかった。多分、「すべて進める」なのだろうが、立候補者として立場を明らかにしてほしかった。残念である。いずれにしても各候補の水問題に対する見解は無回答も含めくっきりと違いがでた。有権者には投票に是非生かしてくれることを願ってやまない。

## ハッ場あしたの会「政党アンケート」

### みんなの党、ハッ場ダム推進へ。脱官僚・霞ヶ関改革はどこへ。

ハッ場あしたの会では、政党に対してアンケートを実施しました。アンケートは膨大になるため、各党のハッ場ダムへの基本認識と自由意見の全文をご紹介します。

※この記事は要約のため、茨城の会事務局判断があります。

■アンケートに回答した政党…民主党、自民党、公明党、共産党、社民党、国民新党、みんなの党

■回答がなかった政党…新党日本、新党改革、たちあがれ日本、日本創新党

### ■基本的立場

Q1 ハッ場ダム計画についてのお考えをお聞かせ下さい。

(1) 問題はない・・・自民党、みんなの党

(2) 問題がある・・・公明党、共産党、国民新党、社民党、民主党

※みんなの党は回答がありませんが、Q2の回答により上記のように区分しました。

※民主党は自由記述のみでしたが、「問題がある」と読み取れるため上記に区分しました。

Q2 今後、ハッ場ダム事業をどうすべきだと思いますか？

(1) 関連事業を継続し、本体工事に着工・・・自民党、みんなの党

(2) 本体工事は中止するが関連事業は継続する・・・なし

(3) 本体工事を中止し、関連事業を見直して真の生活再建・地域振興に資する事業に組み替える・・・共産党、国民新党、社民党

(4) 本体工事、関連事業ともに中止する・・・なし

### 【自由記述】

#### ● 民主党

質問に対して、該当箇所に○をつける方式ですが、政権獲得後の様々な経緯に鑑み、党としても政府と一体となって政策を決定していく立場にもあり、まとめてお答えさせていただきます。

人口減少の進行、急速な少子高齢化、財政危機などの我が国の現状を踏まえれば、従来の公共事業依存型の構造を転換し、国土交通政策のパラダイムシフトを進めていく必要があります。

治水事業については、できるだけダムに頼らない治水へ政策転換するとの考え方にに基づき、既に本体工事に着手しているダム事業など一定の要件を満たす事業については継続するものの、中止の方針を表明しているハッ場ダムを初め、ダム事業については、すべての事業について検証を行い、これらを踏まえて今後の治水対策のあり方を検討していきます。

参議院選挙のマニフェストにも、以下のように記載をさせていただきました。

「中止の方針を表明しているハッ場ダムをはじめ、全国のダム事業について、余談を持たずに検証を行い、『できるだけダムにたよらない治水』への政策転換を一層進めます。」

ハッ場ダムについては、本体工事の中止の方針を示していますが、特定多目的ダム法に基づいた法律上の手続きに入っているわけではありません。基本計画を変更、廃止しようとするときは、当然、関係自治体との話し合いがなされなくてはなりません。

また、ご迷惑をおかけしている地元住民の方々に対してご理解をいただく努力を続けていく必要があります、生活再建策についても万全を期していくことが求められます。

いずれにしても、ハッ場ダムも含めたダム事業について、予断を持たずに検証することとしておりますので、その取り組み状況はしっかり見ていきます。今後とも皆様と連携し、必要に応じて、党として政府に意見を申し上げたり、注文をつけていきたいと考えます。

#### ● 公明党

まずは、前提を設けずに、科学的検証や経済的検証を行い、地元住民の合意をしっかりと確立した上で、判断すべきと考えます。

#### ● 共産党

ハッ場ダムをどうするのかについて、政府は明確な方向を打ち出せていません。利水・治水の観点から必要でなく、貴重な環境を破壊するハッ場ダムは、無駄な公共事業と言わざるをえません。ハッ場ダムのために長期にわたって、住民の生活を制限し、精神的な苦痛を負わせてきたことは、重大な政治の責任です。ハッ場ダムの建設計画をきっぱり中止するとともに、住民の生活支援と地域経済の再建に全力をあげます。

#### ● 社民党

ハッ場ダムは本来の建設目的に照らして検証するかぎり、必要性がないといわざるをえない。社会的な大損失・大損害であり、ハッ場ダム建設は中止すべきである。同時に、ダムに限らず、大型公共事業の中止後の制度作りこそが必要であり、社民党は、「住民参加の公共事業チェック機構の創設」や中止ルールを盛り込んだ「公共事業基本法」の制定とともに、「ダム計画中止後の生活再建支援法案」の制定も考えており、他党と連携を図りながら必要な対策をすすめていきたい。

#### ● みんなの党

過去に問題があったかということとともに、未来志向で工事続行により得られる便益と費用を比較して、続行すべきか否かの結論を出すべきと考えます。

※ハッ場あしたの会アンケートに対する事務局見解は下記に記されています。

<http://yamba-net.org/modules/news/index.php?page=article&storyid=947> 是非ご覧ください。

### 第2回ハッ場ダム茨城裁判控訴審「進行協議」

日時：9月9日(木)午後4時より

場所：東京高等裁判所第10民事部（東京高裁16階）

原告のご参加をお願いします。一般の方は傍聴できませんが協議後の説明会は聞きものです。

ハッ場ダムをストップさせる茨城の会 代表：近藤欣子 濱田篤信 柏村忠志  
事務局：神原禮二 〒302-0023 取手市白山 1-8-5 携帯：090-4527-7768